

2025 年度 藤枝学院高等専修学校
自己点検・評価項目および学校関係者評価報告書

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

1. 教育理念・目標

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	評価	関係者の意見
教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	4			4	多様性社会との対比をしたうえで、特別なケースに依存しすぎないことに留意の上、変化していくことが必要。
教育目標は卒業時の到達が読みとれるものになっているか	4			4	
教育理念並びに教育目標は定期的に見直されているか	4		時代と共に変化してゆく生徒の特性を生かす評価方法をこれからも精査していく必要がある。	4	
教育理念並びに教育目標が教職員・生徒に浸透しているか	4		職業教育を行う専修学校として、実社会ではどのような対応なのかを見極めて維持するものと変化が必要なものに対応していく必要がある。	4	

2. 教育活動

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	評価	関係者の意見
カリキュラムは教育目標が反映されているか	4			4	進路先側から見ると他の高等学校を卒業してきた生徒と比べ、パソコンスキルが高いので引き続き進めるとよい
定期的なカリキュラムの見直しがなされているか	4			4	
テキストや教材は適切なものを選定しているか	3	各教員が作成した授業資料の共有化が不十分。	教科書は変更に向けて対応。サーバー内指定フォルダへの保管。教材のデジタル化も検討が必要。	3	
授業の点検・評価が適切に実施されているか	4			4	
資格試験の合格率は	4	全体の合格率は上がっているものの合格できる自信がつくまで時間がかかる生徒が増加傾向にある。		4	
資格試験不合格者の対策は	4		継続的な指導よりも短期集中の指導方法が向いている生徒もいるため、短期集中による研修を充実させる。	4	
評価は適切な方法で行われているか	3	1, 2年生は自己目標に対して達成度評価を導入しているが、目標の立て方が不十分であるため、達成度数値が必ずしも適した数値とはなっていない場合がある。	学年によって現在の評価方法が最適なのか検討するとともに、目標の立て方に対しても指導が必要。	3	
目標に到達しない生徒に対し適切なフォローがなされているか	3	目標に到達していない生徒に対し、個々に対応するようにしているが、教員がついていないと学習できない生徒がいる。	自学自習できる生徒と教員がついての指導が必要な生徒とそれぞれに適切な対応をしていく。	3	
進級、卒業の判定審査は適切に実施されているか	4			4	

3. 生徒受入

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	評価	関係者の意見
生徒募集のための資料の表現・内容並びに募集活動の方法・時期は適切か	3	中学校での進路活動は早期化が顕著になっている。通信制高校の影響が大きく、2年生の見学相談や資料請求が大幅に増加した。少子化と支援金制度変更に伴い、公立離れが加速したという報道もあるが、通信制高校が増加していることも大きな要因である。	スポットで中学校の先生方に早い段階から情報を提供する。また生徒保護者主体になっている進路活動に対応することが急務。	3	どの業界でも個人がネットで調べて問い合わせや決定することが増えているので、そちらの対応にも力を入れてはどうか
入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	3	制度変更の報道があっても、行政から学校へ情報が来るのが遅延または曖昧な場合があるため適切に情報を提供できないケースがある。	行政対応を待つしかない。	3	
募集要項の内容は適切か	4			4	
学校見学会の時期、内容は適切か	4	※学校見学は随時受付		4	
入学者選抜の時期、方針、方法は適切か	3	通信制高校の試験早期化、定員割れする高等学校の不合格者減少に伴い、中学校との関係を維持しつつも対策が必要。	従来の特別選考試験、一次選考試験の名称も含めやり方や比重を検討。	3	
志願者状況、定員充足率はどうか	2	通信制高校による早期結果発表、公立高校との併願者の増加及び公立高校が定員を超過し合格を出すなどの影響は決して少なくない。また、支援を要する生徒の入学相談が増加傾向にある。	志願者数を増やすためには、まず在校生が生き生きと活動し、学校に対する満足度を上げる必要がある。即ちそれは口コミによる広報活動の拡充につながる。見学者数を増やすためには、中学校の先生方に対し、専修学校の教育について理解を深めてもらえるように定期的、継続的な募集活動を行う。	3	
中途退学の原因・実状を適切に把握しているか	4			4	

4. 教職員組織

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	評価	関係者の意見
専任教員は設置基準を満たしているか	3	設置基準は満たしているが、育児のため時短勤務に入る教員がいる為、次年度の運営方法の検討が必要。	全学年、学年担任制を導入予定。	3	教員の負担を軽減するにあたり、必ずやらなければならないこと、優先する事などの選別が今後課題となる
専任教員1人あたりの担当科目時間数は適切か	3	制度上の問題はないものの、教員一人当たりの担当科目・時間数が多く負担が多い。	時間講師の人員増、担当時間数増を図る。	3	
教職員の業務分掌は明確になっているか	3	担当科目時間数が多く、また個別に指導が必要な生徒が増加傾向にある中、行事の準備対応が大きな負荷となっている。	教員の人数が減少する中、行事の数が少しずつ増えているため、行事運営の方法、行事数を適正に検討する必要がある。	3	
教職員の能力、業務内容の評価を定期的実施しているか	4			4	
教職員の資質向上のためのシステムは適切に構築されているか	3	指導は多くのことが教員の経験値に委ねることが増えてきているが必ずしもその経験が現代にマッチしていない部分がある。	改めて現在の高校生を取り巻く環境を認識すると共に理解と教員の意識を変えていく必要がある。	3	
職員は業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか	3	担当時間数が過大になっている。教員は意欲的なのが多岐にわたる授業担当や行事の増加、授業以外の校務が多く物理的な作業時間が不足している。	非常勤講師の雇用と業務のスマート化を図る。	3	

5. 施設・設備等

評価項目	評価	現状の問題点	評価	評価	関係者の意見
教室は学習を行うのに十分な面積を有しているか	4			4	増設等の予定が近々ではないので、清潔に保って維持できるようにしてほしい
実習室は実習を行うのに十分な面積を有しているか	4			4	
実習設備は整備されているか	4			4	
教室・実習室の管理は適切に行われているか	4			4	
生徒が自学自習できる教室を有しているか	4	図書室を設置、解放したが、時間的な制約があるので利用方法については今後の課題である。		4	
保健室は適切に整備されているか	4			4	
教育用機器備品は整備されており活用されているか	4			4	
職員室の管理は適切に行われているか	4			4	
事務室の管理は適切に行われているか	4			4	

6. 生徒生活支援

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	評価	関係者の意見
生徒と相談する体制が整備・機能しているか	3	友人関係や家庭環境による生活の不安定さから居場所に困る生徒への対応。	今後も更なる工夫と早めの相談体制が必要。	3	防災面では、昨日、東北地方で大きな地震があったが、生徒には先ず自分の身を守ることと、避難時には高校生として積極的に支援活動に関わるような教育も必要
各学校行事について、適切な事後反省を行っているか	4			4	
防犯・防災訓練の実施等、不法侵入・災害に対する整備は万全か	4			4	
進路活動に関する支援が整備され、機能しているか	4			4	

7. 管理・運営

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	評価	関係者の意見
消防計画、学校安全計画等は適切に整備されているか	4			4	特になし
個人情報保護法を遵守しているか	4			4	
セクシャルハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか	4			4	

以上、本校の教育研究活動等の状況について報告します。